

こいのぼり
およぎつかれて
やすんでる



友部小5年(当時)
塙 一生

(平成27年「子ども俳句大会」入選作品より)

支部たより ひがし

第143号

発行日 平成29年3月23日
発行 笠間市社協東支部
編集 広報委員会
印刷 有限会社 テクノプラン



一斉にお餅を焼く

一月十四日(土)に南友部三世代の集いとして厄払いのどんと焼きが行われました。



一月十四日(土)に五平クラブが主催するワーホイ祭りが行われました。以前は夜に



お餅作り風景

親子三世代約百人が参加しました。昔ながらの臼や杵を使って餅をつき、あんこ餅、きなこ餅、納豆餅などを楽しましました。



紅白の餅を竿の先につけて焼く



☆柿橋団地、東ヶ丘
中山 務
(退任：志賀道夫)



☆宿一・二、久保、古山
深澤 洋子
(退任：松田あや子)



☆原店一・二
深谷 邦子
(退任：須藤みよ子)

「新任の方々」

十二月三日(土)に笠間市民生委員・児童委員の委嘱状伝達式が行われ、東支部で十二人の方々が委嘱されました。この内五名の方が退任され、新たな委員が就任しました。退任された五名の方々は長い間の活動ありがとうございました。

新任の民生委員紹介



☆柿橋北
山中 福一
(退任：市毛英弘)



☆柿橋西・中
武藤 千秋
(退任：藤田嘉昭)

体と空の守りは任せておけ

支部委員等研修交流会 鴻巣一区 内桶 要一

二月一日に支部委員等一行四十一名は小美玉市のかめ納豆で有名な「タカノフーズ納豆博物館」と「航空自衛隊百里基地」を視察研修しました。納豆博物館ではビデオで製造工程を見た後、工場を見学しました。納豆は豊富なタンパク質、健康にとってすばらしい食べ物である事が分りました。配備されている機種はアメリカ製のファントム戦闘機と偵察機で、四十五、六年前に開発されたものですが、エンジン以外はほとんど改良され、現在でも十分通用するとのことでした。また、パイロット一人を育てるのには約七年の歳月と四億円の費用がかかるそうです。研修で充実した一日でした。



ファントム戦闘機をバックに

友部特別支援学校 交流会開催

十二月六日に友部特別支援学校小学部六年生との地域交流会が開催され、女性部三人が参加しました。生徒たちは手製のカラフルな歓迎プラカードを持って玄関に迎えに来てくれました。会場では生徒達が一生懸命



カラフルなプラカードでお迎え

練習してきた踊りを披露してくれた後、グループに分かれてゲームを楽しみました。生徒たちは大変歓迎してくれて、ゲームの間中、手を握って離さない子や、帰りの玄関での見送りのとき泣き出す子もいました。

元気で頑張っています 趣味に生きる「イワヒバ」筋三十年

柿橋南 今井 由蔵さん(八十四歳)



今井さんは平成三年、四十年間勤めた日本電信電話(株)柏支店を定年退職、平成四年に千葉県柏市より茨城の現在地に家を建て転居、平成十年、第二の職場・関東通信興業(株)を退いて、その後、区の役員を歴任し、活躍されました。現在は趣味に没頭する毎日です。定年を前にして好きな盆栽の道を極めようと、総合盆栽講座を受講、協会員になりました。平成十二年には、日本巻柏連合会の会員になり、イワヒバの培養に取り組みしました。イワヒバの和名の由来は枝葉が松に似ており、岩の上に生えることからきており、別名岩松とも言われています。

盆栽を始めてから約三十年になり、自宅庭の空きスペースには園芸店からの購入や自分でさし芽して殖やし培養したイワヒバが何と五百鉢以上

あり、所狭しと置かれ、残るは踏み台の置かれた通路のみといった状態です。イワヒバは「葉を開いた春から夏、そして秋へと刻々と移っていく色彩変化のおもしろさ、しかも秋の紅葉も一本一本千差万別」のところが魅力だそうです。

今後取り組みたいと思っているのは石つき寄せ植盆栽で、展示会出品も視野の内、そして植物を通じ、地域との結びつきを深めたいと理想を話してくれました。

痛風、血圧の高めで薬を服用していますが、それ以外に心配する事なく、一日一日を元気に過ごされています。グラウンドゴルフも十数人で健康維持のため練習しています。

今後趣味を楽しみ、奥様と元気に頑張つてほしいと思いました。(聞き手・穴戸)



県知事賞を受賞して

元気活動グループ紹介 (第一回)

五平クラブ ー地域内の住民交流を担って44年ー

五平クラブは昭和五十三年、消防第十二分団(当時)の団員や団員OBが「五平野球クラブ」として発足させたが、同年、野球ばかりでなく「地域内の住民交流の主体となる。」等の趣旨から「五平クラブ」と改称し、以来四十四年間、活動を続けている。

昭和五十三年には長い間中断していた「盆踊り」「ワーホイ祭り」を復活させ、現在まで続いている。

五平公民館の建設においては、内郷、飯田、西内郷の三区長に要望書を提出し、三区長をバックアップして昭和五十七年の五平公民館の完成に大きく寄与した。

さらに友部東養護学校(当時)の児童達との定期的な交流などその積極的な活動が認められて、平成四年度には「茨城県ばら賞」を受賞し、その活動は高く評価されるようになった。

結成以来四十四年、クラブ構成員の高齢化などで、全盛期の活発さは少々むづかしくなっているが、

- ・住民交流の母体となる。
- ・伝統行事の継承



母体となった消防第12分団

・市の行事への積極参加

・友部特別支援学校との交流など、発足時の理念は立派に引継がれている。

現会長・小澤文明氏によれば、現在会員数は四十三名、一番の問題は会員の高齢化で、現在、最高齢は七十歳とすること。回覧やホームページ



友部東養護学校との交流会(初期の頃)

で会員を募集しているのと。クラブが長続きしている要因は年代の縦のつながり、同年代の横のつながりがあると感じた。クラブの持続の為にも、二十代、三十代の入会が望まれる。(取材・多田)

女性部新年の集い開催 今年も地域のために頑張ろう

一月二十二日(日)に社協会館で女性部の新年の集いが開催され、女性部員や東支部



役員など四十七名が参加し、新年度の活躍を祈念しました。昼食はお弁当に手作りの豚汁をいただきました。恒例のビンゴの景品はきれいな花鉢で、それぞれ好みの鉢を持ち帰りました。

第一回配食サービス

十一月十六日に第一回の配食サービスを実施し、希望者六十三名に配食しました。民生委員さんにも配食を手伝っていただきました。

手作り料理&フラダンス 柿橋ブロック 対話と食事会

柿橋ブロックの対話と食事は十二月四日に社協会館で開催しました。参加者は八十六名でした。手作りの料



編集あとがき

新年に入ると、トランプ氏の言動に世界中がピリピリし出し、そんな中で稀勢の里の奉納土俵入りの姿は、県民は元より、日本中が沸き上がりました。魅力度四年連続最下位の茨城は、今、アツいんです。鹿島アントラーズ、畑岡奈紗、恩田陸、次の朝ドラ地、ブラタモリ水戸編、東山魁夷展等です。私達も、ホットな紙面作りに勤しみます。(内桶)